

## 取扱説明書

型番:TA2C-74Z8

このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。別冊「使用上のご注意・サポートガイド」と本書をよくお読みのうえご使用ください。また、保証書裏面の「保証規定」をよくお読みください。

### 重要保管

本書は必要なときすぐにご覧になれるようお手元に保管してください。

### 本書で使用しているマークについて

	死亡または重傷を負う可能性がある内容です。		軽傷を負うことや財産への損害が生じる可能性がある内容です。
	操作の際注意するポイントです。		補足説明や知っておくと便利なポイントです。

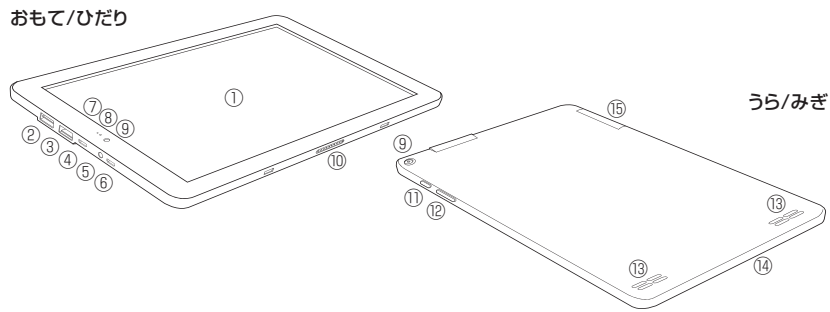
### ★本製品はGoogle Play (Google Play ストア)に対応しておりません

- 本製品は、Android OSの自動アップグレードをおこなわず固定OSバージョンで運用いただけることを目的に、Google Playストアおよび一部のGoogleサービスに対応しておりません。したがって本機にGoogleアカウント/パスワードを設定していてもGoogle PlayストアのWebサイトにアクセスすることができないか、アクセスができてGoogle Playストアに「ダウンロード済み」「インストール済み」と結果表示された場合でも、実際は本機へのアプリのダウンロードはおこなわれません。あらかじめご了承ください。
- Google Playストア以外のAndroidアプリストアはご利用いただけます。

## 1.セット内容 — はじめにご確認下さい —

- 本体  ACアダプター  電源ケーブル(USB TypeAプラグ→micro-Bプラグ)
- 使用上のご注意・サポートガイド  保証書  取扱説明書(本書)

## 2.各部の名称と機能



名称	補足説明
①ディスプレイ(画面)	表面に10点マルチタッチパネルを装備しています
②USB3.0ポート(TypeA)	USB機能はホストモードです*1。USBメモリーなどUSB機器を接続します。下位バージョンに互換性があります
③USB2.0ポート(TypeA)	*2つのUSBポートは設計上差し込み向き(表・裏)が異なります
④microHDMI出力端子	ご利用の際は市販のmicroHDMIケーブル(別売)をご用意ください
⑤ヘッドホン兼ヘッドセット端子	ヘッドセットの規格は「CTIA」です(単体マイクは使用できません)
⑥電源入力端子(DC-IN)	形状はmicroUSBポートです。USB機能はデバイスモードです*2
⑦照度センサー	ディスプレイの明るさを自動調節するために周囲照度を検知します
⑧充電ランプ	内蔵バッテリー充電中は赤色に点灯、満充電になると消灯します
⑨Webカメラ(内側/外側)	静止画や動画が撮影できるカメラレンズが表面と裏面にあります
⑩拡張ポート	(当社製の専用周辺機器(別売)に接続するための端子です)
⑪電源スイッチ	本機の電源をON/OFFにするスイッチです
⑫音量ボタン	+を押すと音量が上がり、-を押すと音量が下がります
⑬ステレオスピーカー	縦向き使用の際にスピーカーレイアウトが左/右配置となります
⑭内蔵モノラルマイク	小さな穴の内部にモノラルマイクを内蔵しています
⑮メモリーカードスロットカバー	カバーを開くと中にmicroSD/SDHC/SDXCカードスロットがあります

\*1 ②③のUSBポートは、USBメモリーなどの接続機器へ本機より給電をおこないながら使用する用途のポートです(USBホストモード専用)。故障の原因になりますので、外部(バッテリーやDC電源など本機へ給電する装置は接続しないでください。USB/HAPなどを介する場合も、USBハブのUSBポートに本機へ給電する装置を接続しないでください。

\*2 USBデバイスモードの利用について  
 ⑥電源入力端子(形状はmicroUSBポート)はUSBデバイスモードの通信にも対応しています。(USBホストモードやUSB OTGモードには対応しておりません。)  
 USBデバイスモードとは、本機を外部デバイスとしてWindows/パソコンなどに接続するためのUSB通信モードです。  
 USBデバイスモードの通信をおこなうときは、本機の②USB3.0ポートに接続しているUSB3.0対応機器を一時的に本機から取り外してください。  
 設計上の仕様により、⑥電源入力端子からUSBデバイスモードの通信をおこなっている間、②USB3.0ポートに接続しているUSB3.0機器によっては動作が正常におこなわれず、本機とUSB3.0機器間がデータ転送中の場合、そのデータが損傷したり失われたりする場合があります。

## 3.はじめて電源をONにする前に

### 3-1. インターネット環境の準備

これからインターネットをはじめる方は、あらかじめインターネットプロバイダーと契約し、インターネット回線を開通させたうえで、無線LAN親機(無線LANルーターなどとも呼ばれます)など、本機との接続に必要な機器をご用意ください。

本機は無線LAN受信機(子機)を内蔵しており、お選びいただける規格は以下です。

2.4GHz帯 無線LAN IEEE802.11b/g/n	5GHz帯 無線LAN IEEE802.11a/n/ac
----------------------------------	---------------------------------

無線LAN親機を使用するときは、その取扱説明書等を参照して以下をメモしておきましょう。

・ネットワーク名(SSID) 無線LAN親機などアクセスポイント固有の名前です

・ネットワークセキュリティキー (セキュリティキー、暗号化キー、WEPキー、WPAキーなど)

(無線LANの設定方法は【[図4-6-1. 無線LAN\(Wi-Fi\)の接続設定](#)】で説明します。)

本機の時計機能は、無線LANに接続すればネットワークから提供される日時情報を利用して、自動的に日時合わせされるようになっています(出荷時設定)。手動で日時合わせすることも可能です。【[図5-2. 各種詳細設定の変更方法](#)】

### 3-2. ACアダプターの接続方法と内蔵バッテリーの充電方法

- ① 付属のACアダプターに、付属の電源ケーブル(形状:USBケーブル)を接続します。
- ② 本機の電源入力端子(DC-IN)に電源ケーブルを挿しこみます。
- ③ ACアダプターを電源コンセントに接続します。(本機の充電ランプが点灯します。)  
 →電源OFFの状態では、充電を開始すると画面にONKYOロゴが表示され、続いて約3秒間充電残量(%)が表示されたあと画面が消灯します。  
 →充電中は、本機の「充電ランプ」が赤色に点灯します。  
 充電ランプは満充電になったら消灯します。充電を開始した時点ですでに満充電の場合は、充電ランプは点灯しないか点灯してもすぐに消灯します。

起動には一定以上の充電残量が必要です。はじめてお使いになるときや、充電残量が少いときおよび充電残量が0%のときは、30分以上充電をおこなってください。

充電残量が0%になった以降長期間使用されなかった場合は、充電時間が通常時よりも大幅に長くなる場合があります。

④ 充電を終えたら②と③をそれぞれ取り外してください。



本機への給電は、必ず付属のACアダプターおよび電源ケーブルを使用して、電源入力端子(DC-IN)からおこなってください。(上の図で指定する以外の接続はしないでください。)発熱や故障の原因になりますので、付属のACアダプターから本機の電源入力端子までの経路にUSBハブを使用しないでください。また、ケーブルの延長やコネクタ変換機器の接続をしないでください。

本機の定格電源入力は「5V・2A」です。電圧不足による本機の性能低下や故障の原因になりますのでスマートフォン用のACアダプターは使用しないでください。

バッテリー残量がなくなると使用中でも電源がOFFになります。低残量を知らせるメッセージが出たら、使用しているアプリのデータをすぐに保存してください。

本機に内蔵しているリチウムイオンポリマーバッテリーは、いつでも縦置き充電をおこなうことができます。リチウムイオンバッテリーの特性などについては【[図5-1. 別冊「使用上のご注意・サポートガイド」で詳しく説明しています。](#)】

### 3-3. タッチパネルの操作方法について

タッチ操作名	タッチ方法	おもな動作内容
タップ	画面の項目を軽く1回たたきます	選択や決定
ダブルタップ	画面の項目をすばやく2回連打します	拡大や縮小
長押し(ロングタップ)	画面の項目に、しばらく指を押しつけたままにします	オプションメニューの表示
フリック	画面に触れた指先をすばやくはらうように動かし離します	写真やページをめくる
スワイプ	画面に触れた指先で画面をゆっくりなぞります	画面表示の移動
ドラッグ	項目を指先で押さえたまま、目的の位置まで動かします	アイコンなどの移動
ピンチアウト	2本の指で画面に触れたまま、指と指を広げます	画面の拡大
ピンチイン	2本の指で画面に触れたまま、指と指を近づけます	画面の縮小

市販の一部タッチペンで本機の操作ができない場合がありますが、本機の故障ではありません。

## 4.本機を使い始める

さあ、使い始めましょう。ここからは本機の基本的な操作方法を説明します。画面は横向きでも縦向きでもご利用いただけます。(スピーカーは縦向き配置です。)

### 4-1. 本機の電源をONにする

① 電源スイッチを押します。

初めて電源をONにするとき、および前回電源スイッチの長押しして電源をOFFにしたとき  
 →3秒以上長押しして指を離し少し待つか、画面にONKYOロゴが表示されるまで押し続けて指を離します。

待機状態(スリープ、画面ロックとも呼ばれます)から復帰させるとき  
 カチッと短押し



電源スイッチの長押しして電源OFFにしたあとに再度電源をONにするときは、画面が消灯していてもバックグラウンドの終了処理がまだ継続されている場合がありますので、画面消灯後30秒以上待ってから再操作してください。3秒以上長押ししても電源が入らない場合などは、あらかじめ30秒以上待ってから電源ボタンを3秒以上長押ししてください。

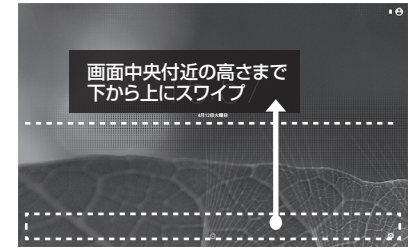
②ONKYOロゴ～androidロゴの順に画面表示されたあと、「ロック画面」が表示されます。

(誤作動防止のため、ロック画面の状態では本機の手動操作をおこなうことはできません。③の手順で画面のロックを解除してください。)  
 \*待機状態から復帰させたときは、ロック画面がすぐに表示されます。

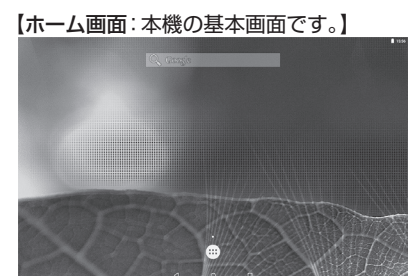


ロック画面の状態でももしも時間が約10秒経過すると、本機は待機状態(スリープ)になります。その状態で電源ボタンを短押しすると再びすぐにロック画面へ復帰します。

③画面下部の任意の場所に触れ、画面の中央付近の高さまで、下から上にスワイプして画面のロックを解除します。



一面のロックが解除され「ホーム画面」に切り替わります。



はじめて画面のロックを解除するときや初期化【[図5-2. 各種詳細設定の変更方法](#)】のあとにはじめて画面のロックを解除するときは画面に右の「ようこそ」コメントが表示されます。OKを押して進んでください。

### 4-2. 本機の電源をOFFにする

電源スイッチを押します。

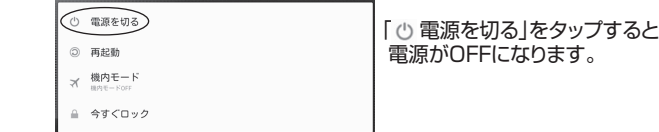
電源スイッチの押し方には、以下A、Bの2通りの方法があります。

A 本機の電源を待機状態(スリープ)にする方法  
 カチッと短押し

電源スイッチを短押しすると画面が消灯し待機状態になります。次回操作時も電源スイッチを短押しするとすぐにロック画面へ復帰しますので、しばらく操作を中断する場合などに便利です。(待機電力は消費します。)

B 本機の電源をOFFにする方法(基本的な電源OFFの方法)  
 約2秒間長押し

→画面に以下が表示されますので「 電源を切る」をタップします。



【本機の強制終了方法】  
 本機を操作中に画面がフリーズする(固まる)などしたときは、以下の方法で本機を強制終了してください。  
 →「電源スイッチを10秒以上長押し」強制終了後再び電源をONにするときは、画面消灯後30秒以上待ってからおこなってください。

本機をすぐに使用しないときはBの方法で電源をOFFにしてください。1日一回など定期的にBの方法で電源をOFFにするか再起動をおこなうことで、本機の記憶装置にキャッシュデータなどの不用データ(garbage)が蓄積され続けることを防止することができます。不用データの蓄積が長期間続いた場合、本機のパフォーマンス低下や突然の電源OFFなどの原因になる場合があります。

本機は24時間連続稼働を前提とした設計になっておりません。

### 4-3. 「ホーム画面」の基本操作方法

① ホーム画面

② ステータスバー  
 画面上部にあり、無線LANの接続状況、時刻、バッテリーの状態などを表示します。

③ Google検索ウィジェット  
 ここをタップするとインターネット検索画面に切り替わりタッチキーボードが表示されます。(インターネットのご利用には無線LANへの接続が必要です。)  
 【[図4-4. タッチキーボードの操作方法](#)】  
 【[図4-6-1. 無線LAN\(Wi-Fi\)の接続設定](#)】

④ バックボタン  
 現在表示中の画面の、ひとつ前の画面やページに戻ることができるボタンです。

⑤ ホームボタン  
 どんな操作をしているときでも、このボタンをタップすると「ホーム画面」に戻ります。

⑥ 履歴ボタン  
 アプリや設定などの利用履歴を画面表示するボタンです。  
 履歴画面に表示されたアプリ等をタップするとアプリの切り替えも直接おこなえます。

⑦ (④の)バックボタンを押すとホーム画面に戻ります。)

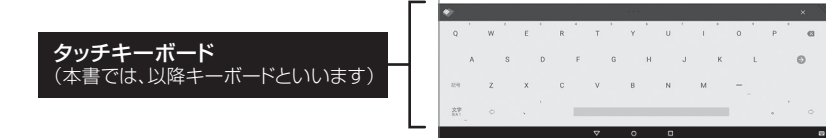
利用を終えたアプリを終了する方法 / アプリの利用履歴を消去する方法

- ① ホームボタンをタップしてホーム画面に戻ります。(アプリの終了)
- ② 履歴ボタンをタップします。履歴表示されたアプリを右または左にフリックすると利用履歴を消去できます。

アプリを右または左にフリックして消去

### 4-4. タッチキーボードの操作方法

●インターネット検索やメールの作成、各種設定作業などで文字の入が必要になると、画面にタッチでタイピング(文字入力)ができる、タッチキーボードが表示されます。



出荷時設定はQWERTYキーボード/ローマ字入力(ひらがな漢字変換)になっています。画面の文字をタッチタイピングすると表示される文字変換候補をタップすることで文字変換しながら文字入力します。

文字種別の切り替え  
 キーボード左下にある、「文字ボタン」をタップすると、小文字や数字・記号など、文字の種別が切り替わります。

キーボード表示を終了したいときは  
 画面下部の、下向きのバックボタンをタップすると、キーボード表示が終了します。

キーボードのサイズや表示位置を変更する  
 キーボード上部のバーに表示されている右隅部分をタップしたままドラッグすることで、キーボードのサイズや表示位置を変更することができます。

キーボードのサイズや位置の変更は、キーボード上部のバーに表示されている右のマークのタップからでもおこなえます。

●キーボードの詳細設定例を説明します。  
 キーボード左下にある、「文字ボタン」を長押しすると、キーボードの詳細設定をおこなうことができるメニュー画面が表示されます。

キーボードの詳細設定をおこなう場合は各項目にタップしておこなってください。ここでは一例として、キーボードタイプの切り替え方法を説明します。

①iWnn IME(本機の日本語入力ソフトウェアの名称です)メニューの「キーボードタイプ切替」をタップすると、選択可能なキーボードのタイプが表示されます。お好みのキーボードタイプをタップします。

②以下はキーボードタイプの中から「50音キーボード」を選択した例です。  
 50音キーボードは、再度「文字ボタン」を長押しすると表示されるメニューから50音配列のタイプが選べます。

50音配列切替  
 キーボードタイプ切替  
 お好みの50音配列をタップします



(⇒ 表面からのつづきです)

#### 4-5. 「通知バー」と「クイック設定画面」について

●本機からの通知を表示する「通知バー」は、以下の手順で表示できます。

- ①ホーム画面上部の画面の外枠にタッチして、画面の内側へスワイプします。
- ②画面上部に通知バー(上部のボックス)と通知内容が表示されました。

●使用頻度が高い設定項目は、「クイック設定画面」から設定できます。

- ①表示した通知バーをタップして、「クイック設定画面」を表示します。
- ②通知バーの下側にクイック設定画面が表示されました。

●クイック設定画面に表示されているアイコンのタップから以下の設定がおこなえます。

	無線LANの接続設定(Wi-Fi)		Bluetoothの接続設定
	機内モードのON/OFF		画面の自動回転/固定
	画面のキャスト(Miracastワイヤレスディスプレイ機能の接続設定)		画面の照度調整
	「設定」アイコン(詳細設定の入口)		

#### 4-6. クイック設定画面 [ 4-5 (前項) ] からの設定方法

クイック設定画面からの設定方法の例として「無線LANの接続設定(Wi-Fi)」、「Bluetoothの接続設定」、「画面のキャスト(Miracast)の接続設定」を説明します。

##### 4-6-1. 無線LAN(Wi-Fi)の接続設定

(本機でインターネットをおこなうために必要な設定です。)

- ①インターネット環境をご準備のうえ無線LAN親機(別売)を用意します。  
[ 3-1. インターネット環境の準備 ] あらかじめ無線LAN親機の設定をおこなってから開始してください。無線LAN親機側の設定方法は、無線LAN親機の取扱説明書を参照してください。
- ②4-5の手順でクイック設定画面を表示させます。
- ③Wi-Fiのアイコンの下に表示されている、「Wi-Fi」をタップします。
- ④クイック設定画面に周囲の電波状況が一覧表示されます。
- ⑤周囲の電波状況表示の中から、ご利用になるアクセスポイントのネットワーク名(SSID)を選びタップします。
- ⑥画面にキーボードが表示されたら、キーボードでネットワークセキュリティキーを入力して、「接続」をタップします。
- ⑦表示画面が切り替わり、接続されたネットワーク名の下に「接続済み」と表示されます。
- ⑧ホームボタンをタップしてホーム画面に戻ります。

クイック設定画面で接続状態の確認がおこなえます。

→4-5の手順でクイック設定画面を表示します。

接続中はWi-Fiのアイコンが全灯し、接続中のネットワーク名が表示されます。

「接続済み」が表示されます。

アプリアイコン→「無線とネットワーク」にあるWi-Fiの設定画面へ、自動的に移動しています。

無線LANを接続中に、クイック設定画面の全灯しているWi-Fiのアイコンをタップすると、無線LAN機能がOFFになります。

##### 4-6-2. Bluetoothの接続設定 (必要がある場合におこなってください。)

- ①Bluetoothの接続設定はペアリングとも呼ばれます。接続するBluetooth機器側の取扱説明書を参照のうえ、Bluetooth機器側の電源スイッチをONにしてペアリングボタンを押すなどしてから開始してください。[本機のBluetooth通信範囲:見通し距離約10m]
- ②4-5の手順でクイック設定画面を表示させます。
- ③Bluetoothのアイコンの下に表示されている、「Bluetooth」をタップします。
- ④右の画面が表示されたら、詳細設定をタップします。
- ⑤画面が切り替わります。
- ⑥接続するBluetooth機器名が表示されたら機器名をタップします。
- ⑦「ペアと設定中」のメッセージが表示され、相互の認証が開始されます。
- ⑧ペアリングが完了すると、表示が「ペアリングされたデバイス」と「接続」に変わります。
- ⑨ホームボタンをタップしてホーム画面に戻ります。

このあと「スワード」等の入力求められるら、接続するBluetooth機器側の取扱説明書を参照のうえ入力してください。

これでBluetoothの設定は完了です。

ペアリング情報は1デバイスにつき初回のみおこなえば本機に記憶されます。

接続中はBluetoothのアイコンが全灯し、接続中の機器名が表示されます。アイコンのタップでBluetooth機能がOFFになります。

Bluetooth機器を使わないときは、バッテリー消費の節約および他の通信機器との干渉を防ぐため、本機のBluetooth機能をOFFにしておきましょう。

##### 4-6-3. 画面のキャスト(Miracastワイヤレスディスプレイ機能)の接続設定

- (必要がある場合におこなってください。)
- ①画面のキャストとはMiracast機能を利用して、本機の画面をテレビ等の外部ディスプレイにワイヤレスで表示することです。Miracastレシーバー(別売)をお手持ちのディスプレイに接続し、接続待ち状態にしてください。Miracastレシーバーの手順はレシーバーの取扱説明書を参照してください。
  - ②4-5の手順でクイック設定画面を表示させます。
  - ③画面のキャストのアイコンの下に表示されている、「画面のキャスト」をタップします。
  - ④右の画面が表示されたら、詳細設定をタップします。
  - ⑤画面が切り替わります。右上にある、「ワイヤレスディスプレイの有効化」をタップします。
  - ⑥表示されたMiracastレシーバーの機器名をタップすると、接続が開始されます。
  - ⑦ホームボタンをタップしてホーム画面に戻ります。

4-7. おもな内蔵アプリについて

アプリは、アプリアイコンのタップで「アプリ画面」に一覧表示されます。  
←アプリアイコン、アプリ画面 [ 4-3 (ホーム画面) ] の基本操作方法

以下は本機のおもなプリインストールアプリです。アイコンのタップからご利用ください。

	カメラ 内蔵カメラで静止画や動画を撮影		カレンダー スケジュール管理などがおこなえます
	ギャラリー 保存した動画・静止画を再生します		ダウンロード ダウンロード履歴が参照できます
	ブラウザ インターネット画面を表示します		メール メールの利用ができます
	音楽 保存した音楽を再生します		音声レコーダー 内蔵マイクの音声をメモ録音します
	時計 アラーム、砂時計、ストップウォッチなど		電卓 関数電卓が利用できます
	設定 本機の種類詳細設定をおこなうための入口です		File Manager(ファイルマネージャー) 本機や外部メモリに保存したファイルのコピー、移動、削除などができます

## 5. 画面カスタマイズと各種設定

ここではホーム画面のカスタマイズや各種詳細設定の方法を説明します。

### 5-1. 壁紙の変更とウィジェット表示の設定

●壁紙の変更

- ①ホーム画面のアイコンなどが何もない場所を長押しします。
- ②壁紙/ウィジェットの設定画面に切り替わったら「壁紙」をタップします。
- ③画像一覧から壁紙を選択しタップします。
- ④「壁紙を設定」をタップします。

●ウィジェット表示の設定 →アプリを起動しなくてもアプリ情報の確認ができます。

- ①ホーム画面のアイコンがない場所を長押しして、壁紙/ウィジェットの設定画面に切り替え、「ウィジェット」をタップします。
- ②ウィジェットの一覧が表示されます。ここでは設定例としてアナログ時計のウィジェットを長押しします。
- ③以下の画面になったら指を離します。
- ④「ウィジェットの作成とアクセスの許可」が表示されたら「作成」をタップします。
- ⑤ホーム画面にアナログ時計のウィジェットが常時表示されました。

ブラウザから選択したWebサイトやメールの新着なども、④から追加するとホーム画面にウィジェット表示できます。

●アプリアイコン表示の設定 →ホーム画面にアプリアイコンを常時表示できます。

- ①アプリアイコンをタップしてアプリ画面を開きます。
- ②設定例としてカメラアプリのアイコンを長押しします。
- ③以下の画面になったら指を離します。
- ④カメラアイコンが常時表示されました。

ウィジェットやアプリアイコンの移動や削除方法(例)

- カメラアイコンの移動  
カメラアイコンを長押しします。画面上部に表示された指を離さずアイコンをドラッグします。
- アナログ時計ウィジェットの削除  
時計ウィジェットを長押しします。画面上部に表示された指を離し、アイコンの色が変わったら指を離します。

### 5-2. 各種詳細設定の変更方法

アプリ画面「設定」アイコンのタップで詳細設定画面が表示されます。

設定			
無線とネットワーク	Bluetooth	ユーザー設定	セキュリティ
Wi-Fi	データ使用量	位置情報	アカウント
Ethernet		バックアップとリセット	言語と入力
もっと見る		日時と時刻	ユーザー補助
通知		印刷	開発者向けオプション
ディスプレイ	HDMI	タブレット情報	
音と通知	ストレージ		
電池	アプリ		
ユーザー	インテリスマートビデオ		

以下は詳細設定の一例です

ディスプレイの明るさを自動調節にする→「ディスプレイ」→「明るさの自動調節」→…

表示される文字のサイズを大きく(小さく)する→「ディスプレイ」→「フォントサイズ」→…

通知音を「あり」にする(出荷時設定:なし)→「音と通知」→デフォルトの通知音→…

アプリを削除(アンインストール)する→「アプリ」→削除するアプリアイコンをタップ→…

手動で日時を合わせる→「日時と時刻」→自動設定をOFFに→日時設定、時刻設定→…

本機の初期化をおこなうときは「バックアップとリセット」からおこないます。初期化(タブレットのリセット)とはシステムが手作業で修復できない状態になったときや、システムの不具合の原因が特定できない場合などやむを得ないときに、本機の復旧を目的として本機内の記憶媒体を消去し、工場出荷時状態に戻すことです。大切なデータや設定内容はお客様が初期化を実施する前または修理に出す前に外部の記憶媒体にコピーするなどバックアップをおとってください。

## 6. 本機の仕様について

- 製品仕様書などについて  
製品仕様書およびその他の情報は次のWEBサイトからご参照ください。  
[http://pc-support.jp.onkyo.com/pds/spec\\_search.aspx](http://pc-support.jp.onkyo.com/pds/spec_search.aspx)
- 有寿命部品、消耗品について  
有寿命部品 ACアダプター、記憶媒体(e-MMC)、液晶パネル、タッチパネル  
消耗品 バッテリーパック、電源ケーブル(USBケーブル)  
本機には有寿命部品や消耗品が含まれています。有寿命部品の交換時期はご使用になる頻度や条件により異なります。消耗品は性能・機能維持のため適時交換が必要です。有寿命部品や消耗品の部品交換は、保証期間内・外にかかわらず有料です。
- バッテリーサイクルについて  
[ 800サイクル ] 経過時点の満充電時の駆動時間は、初期性能の[ 80% ]以上です  
内蔵バッテリーパックは消耗品です。バッテリーはご使用により徐々に劣化していきま(サイクル劣化)。満充電時の駆動時間が初期性能のおよそ50%付近まで低下した場合、バッテリーは寿命を迎えていますので、オンキョーPCカスタマーセンターへ交換を依頼してください。[ 45 別冊 使用上の注意・サポートガイド ] もお読みください。

●補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品の保有期間	製造打ち切り後2年間
補修用性能部品の保有期間をもって、製品の修理対応は終了となります。(補修用性能部品とは、製品の機能・性能を維持するために必要な部品で、すべての部品ではありません。)	

- 無線LANおよびBluetoothワイヤレステクノロジーについて  
2.4GHz帯無線LAN / Bluetoothワイヤレステクノロジー  
この機器の使用周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を有する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。  
①この機器を使用する前に近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。  
②万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止しうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えば1/パーティションの設置など)についてご相談ください。  
③その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた場合は、下記連絡先にお問い合わせください。

(2.4GHz帯無線LAN)この機器が、2.4GHz周波数帯を使用するDSSS変調方式/OFDM変調方式の無線装置で、干渉距離が40mであることを示しています。  
\*使用できるチャンネル(ch)は、1ch~13chです。

(Bluetoothワイヤレステクノロジー)この機器が、2.4GHz周波数帯を使用するFHSS変調方式の無線装置で、干渉距離が40mであることを示しています。  
\*送信出力はPower Class2で通信範囲は見通し距離約10mです。

2.4 DS/OF 4	W52: 36ch, 40ch, 44ch, 48ch W53: 52ch, 56ch, 60ch, 64ch W56: 100ch, 104ch, 108ch, 112ch, 116ch, 120ch, 124ch, 128ch, 132ch, 136ch, 140ch
2.4 FH 4	
IEEE802.11a/n/ac	
J52 W52 W53 W56	

\*W52とW53は、電波法によりご利用が屋内に限定されています。

無線LANはネットワークセキュリティキーを利用するなどのセキュリティ設定をおこなううえで使用してください。セキュリティ設定をしていない場合、第三者に通信内容を盗み見られたり、不正にネットワークへ侵入されたりするおそれがあります。

●瞬時電圧低下について  
この装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満たしております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。なお、内蔵バッテリーの充電残量が不十分な場合は本規格の耐力を満たさないのをご注意ください。

●高調波電流規制について  
この装置は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2適合品です。

●電波障害自主規制について  
この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

©Copyright 2016 MOL JAPAN CORPORATION. All rights reserved.

製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。  
本書を含む各種マニュアルの内容は、予告なく変更する場合があります。  
本書で使用している画像等はそれぞれの表示イメージです。製品と異なる場合があります。  
本書を含む各種マニュアルの内容について、方がご不明な点や誤り等がありましたら、オンキョーPCカスタマーセンターへご連絡ください。なお、本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、各種マニュアルの記載内容にかかわらず当社はその責を負いません。  
本製品に内蔵のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびそのマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約にもとづき、同意書記載の管理責任者のもとでのみ使用許諾されます。  
他社製周辺機器およびソフトウェアについては動作を保証するものではありませんので、各販売元にお確かめのうえご購入ください。  
本製品に記載した著作物は、個人で楽しむなどの場合は、著作権上、権利者に無断で使用できません。本書を含む各種マニュアルの無断転載を禁じます。  
商標について: Intel、インテル、Intelロゴ、Intel Inside ロゴ、Atom、Atomロゴは、アメリカ合衆国および/またはその他の国におけるIntel Corporationの商標です。Google、Googleロゴ、Android、Androidロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、MOLジャパン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)のiWnn IMEを使用しています。iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2015 All Rights Reserved. その他記載されている会社名、製品名、規格名は各社の商標もしくは登録商標です。

DC1192-01A 2016年4月 初版

MOLジャパン株式会社  
〒107-0062 東京都港区南青山3丁目1番7号 青山コンパルビル  
お問い合わせ先: オンキョーPCカスタマーセンター  
電話サポート窓口 ナビダイヤル 0570-001134  
サポートホームページ <http://pc-support.jp.onkyo.com/>